


アルファーズウォーク1・2

取組開始時期	2021年3月27日	取組の カテゴリー	⑧ 健康福祉	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
--------	------------	--------------	--------	-----------------	--	-----------	---	------

1. 団体名	リアルワールドゲームス株式会社	2. 連携先の 団体	◎埼玉県
--------	-----------------	---------------	------

3. 取組 目的	コロナ禍でファンと選手の接点が減少したという課題を歩くDXで解決したい	4. 関連する ゴール	
-------------	-------------------------------------	----------------	---

5. 取組経緯

埼玉県越谷市をホームタウンとしたプロバスケットボールチーム「越谷アルファーズ」はコロナ禍でファンと選手の接点が減少したという課題を抱えている。弊社のウォーキングアプリを解決策として提案し、業務提携を締結した。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

地図上のスポットにチェックインすると、アルファーズ選手のコレクションが確率で獲得できるウォーキングゲームである。更に埼玉県健康長寿課とのコラボレーションで、埼玉健康マイレージのコバトンが登場する。

画像（会員投票の際のサムネイル）

#アルファーズウォーク2



開催期間：2021年3月27日～4月27日

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・市民がウォーキングゲームを楽しみながら歩いて健康になる。
- ・街歩きを通じて、まちの新しい魅力を発見し、QOLが上がる。
- ・一部の応援協力店舗にチェックインすると、クーポンをもらえるため、消費促進効果もある。
- ・地域のスポーツ産業の成長も促進できる。

ステークホルダーとの連携

埼玉県と共に宣伝を行った結果、より多くの市民にウォーキングゲームとフォトコンテストを知って頂き、参加して頂いた。イベント中に、埼玉健康マイレージのコバトンがアプリに限定登場したため、自治体健康事業の宣伝にもなった。

モデル性・波及性

歩くDXでスポーツチームファンクラブの活性化を実現した事例としてはモデル性がある。同仕組みを他のスポーツチームに横展開することも可能である。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

成果①：シビックテック（市民の力）で集めたスポット20万件



成果②：会員数が少ないファンクラブで高いエンゲージメント率と歩行距離を実現した



選手が位置情報ゲームに登場

- 景品
選手コレクション フルコンプリート賞(両日1名)
全選手サイン入り色紙&ロゴTシャツ
- A賞(両日5名)オリジナルボールペン(非売品)
- B賞(両日20名)オリジナルエコトートバック(非売品)

位置情報ゲーム「ピットにゃんたーず」とのコラボで実現した4週間のTwitter運動キャンペーンです。

対象

ファンクラブ会員：500名

実績

- ・参加者：200名（参加率40%）
- ・スタンプコンプリート者：60名以上
- ・イベント専用ハッシュタグ投稿数：180回以上
- ・総移動距離：約日本1周（豊富な移動距離）

高いエンゲージメント率、歩行距離を実現！

今後の方向性：歩くDXをより広い範囲で運用

例①：他のスポーツチームに横展開



例②：埼玉県民に「健康・防災・観光」を一体的に提供

サービス内容 ～「健康・防災・観光」一体提供～

- ・3D地図基盤を活用してヒト・モノ・コトを可視化して繋ぐ

